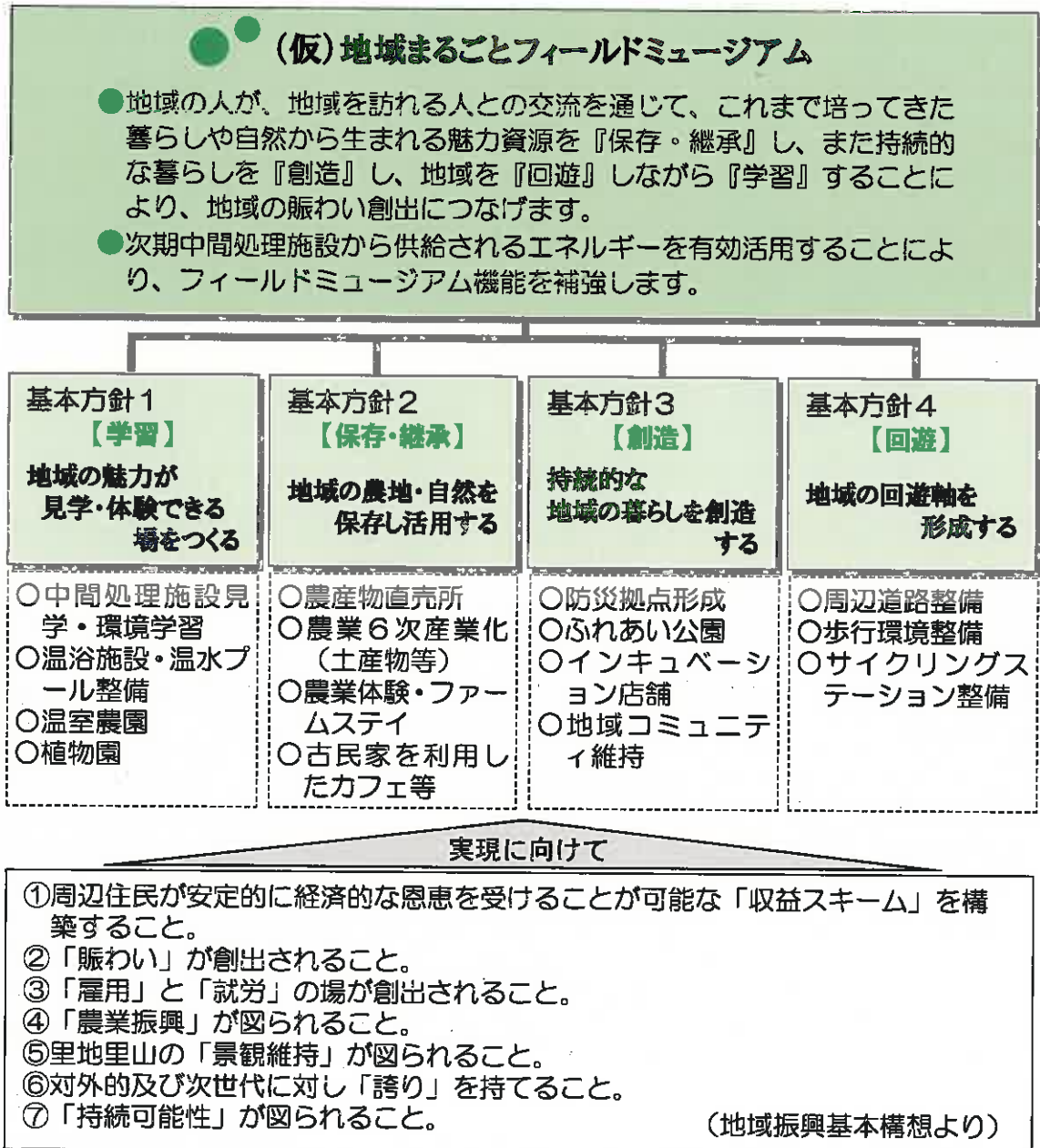


(1) 地域振興のコンセプト

- ・地域振興策基本構想で挙げられている「地域に求められる将来像」の実現に向け、取り組みの方向性を示す基本方針の検討、各地域振興策の選択・決定の拠り所となる地域振興コンセプトの検討を行います。
- ・検討にあたっては、地域振興策基本構想で提案されている『地域まるごとフィールドミュージアム』を基にし、次期中間処理施設から供給されるエネルギーの活用とともに、地域にある多様な資源（自然、農地、歴史、眺望、コミュニティ等）を顕在化するとともに、最大限活用することで、フィールドミュージアムでの「学習」「保存・継承」「創造」「回遊」を具現化することをコンセプトで表現します。

～地域振興コンセプトの提案～



(2) 地域のまちづくり方針

- ・(1) 地域振興のコンセプト及び印西市第二次基本計画、印西市都市マスタープランに基づき、地域の土地利用の将来像となる主なまちづくり方針を以下のように整理します。
- ・有識者懇話会や地域の方との意見交換を通じて、内容をブラッシュアップしていきます。

～まちづくり方針(試案)～

<土地利用>

- ・自然環境と調和した居住環境の保全
- ・農業生産基盤の充実と自然環境の保全
- ・自然豊かな里山の保全

<交通>

- ・広域的な連携を支える主要幹線道路の整備促進
- ・地域交流交通軸の機能維持
- ・集落間を連絡する道路の整備
- ・集落地内の道路の安全性確保

<水、緑>

- ・水や緑のレクリエーション拠点にふさわしい印旛沼公園の維持管理
- ・自然環境の保全と活用

<その他>

- ・防災対策の強化



松崎地区の谷津田の景観



印旛沼公園

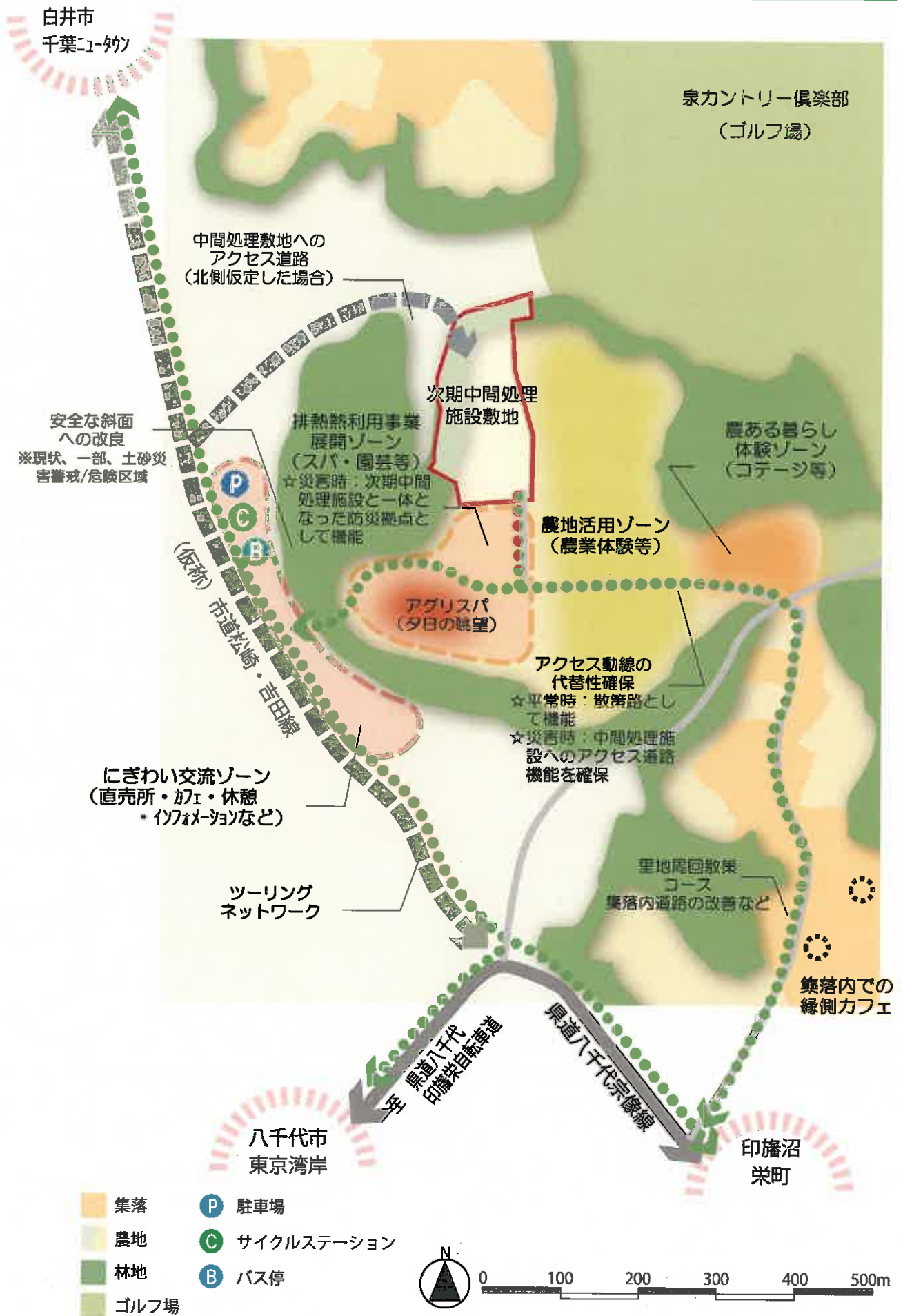


印旛沼放水路(新川)

□ 広域まちづくり方針図



地域まちづくり方針図(イメージ)



(3)まちづくりへのモチベーションを高める重点プロジェクト

- ・住民の期待感やまちづくりへの関心を高め、地域振興への地元関与や参画促進につなげるため、「旗印」となるものを重点プロジェクトとして提示することを提案します。
- ・様々にある地域振興策のうち、単独に実施するものだけでなく、複数の地域振興策を組み合わせたパッケージとして提示します。

重点プロジェクト1 見る、収穫する、体験する憩いの場づくり

<方向性>

- ・次期中間処理施設から排出される熱エネルギーを回収する余熱を利用・体感できる場づくりを提案します。
- ・ここでは、排熱を利用した温室農園や植物園等で収穫体験や見学をし、また温浴施設で熱を体感できる場とします。フィールドミュージアムの回遊拠点として、地域を訪れた人が立ち寄るほか、地域の人の交流拠点として、また防災拠点として利用することを想定しています。
- ・事業化に向けて、当該施設が地域にとって持続的に活用され、地域の誇りとなるよう、事業方針や運営主体、次期中間処理施設と連携した事業スケジュール等を提案します。

事例 ごみ焼却施設の余熱を利用したクリーンスパ市川



- 事業名：市川市クリーンセンター余熱利用施設整備・運営 PFI 事業
- 事業方式：PFI/BOT 方式
- 事業者：(SPC 企業) ベイスパ市川 CC(株)、大和リース(株)、セントラルスポーツ

重点プロジェクト2 地場産品を使った交流の場づくり

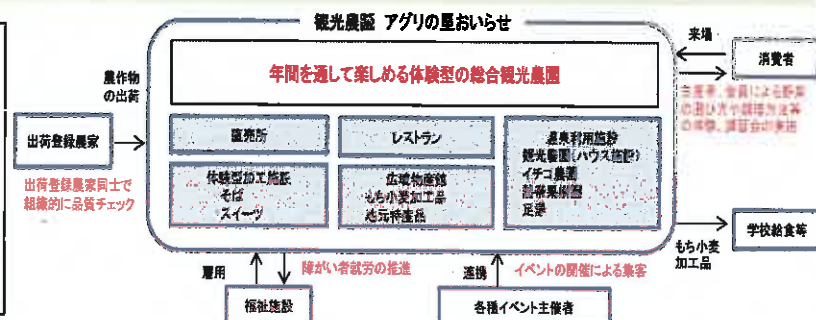
<方向性>

- ・地域の農作物や加工品等の地場産品を販売する場の整備を提案します。
- ・併せて、フィールドミュージアムの回遊拠点として、またサイクリング利用者の休憩ポイントとして、地域の人や来街者が交流する場としての利用も想定します。
- ・事業化に向けて、当該施設が地域の賑わい創出のきっかけとなるよう、地域の手によって、販売する農産物の準備、加工品の開発といった農業の産業化が必要です。直売所となる施設整備とともに、地域の農家や住民が積極的に関わる仕組みづくりを提案します。

事例 観光農園アグリのおいらせ

取組効果 (H26)

- 売上高：2億2,900万円
- 出荷者数：134人
- 雇用者数：49人
- 地域の産業振興の一役を担うために、障害者福祉、雇用促進、地域作物振興に大きく貢献。



～地域振興基本計画の構成(試案)～

